

広報

第67号



# 日大山形

平成29年10月5日発行

つかんだっ!!

夢舞台



17回目の夏

# 第99回全国高等学校野球選手権大会 4年ぶり17回目の甲子園出場

写真：朝日新聞社提供

「じぶん史上、最高の夏」  
第九回全国高等学校野球選手権大会のキャッチフレーズである。日大山形高校野球部はこの夏のフリースの通り、最高の夏を過ごすことができた。

### 三季連続優勝

七月二十六日。この日四年ぶり十七回目の夏の甲子園大会出場の切符を手にした日大山形高校ナインは高らかに校歌を斉唱し「歴史に挑戦する」という目標を掲げた。今年のチームは、第六九回の秋季山形県大会、第六四回の春季山形県大会を制していた。この夏の県大会で優勝できれば山形県完全制覇を成し遂げられる。選手間には、これまで負けずに戦ってきた自信がみなぎる一方で、見えないプレッシャーとの戦いであったに違いなかった。特に準決勝は一度は同点に迫いつかれ苦しい試合であったが、「最後に勝っているのは自分たちだ」と信じ抜き、四年ぶりの決勝の舞台へ、そして優勝することができた。この三季連続優勝が決定した瞬間は、彼らの日々の努力と「負けたくない」という強い思い

が実った瞬間であった。歴史への挑戦

日大山形として山形県にとつての最高記録は、四年前の準決勝進出である。抽選会が終わる大会二日目、対戦校は「明德義塾」に決まった。すぐ隣には「前橋育英」が入った。四年前の準々決勝、準決勝の対戦校であった歴史に挑戦するためには絶好の相手であった。

一回戦 明德義塾戦  
一点を争う試合であった。九回が終わって決着はつかず、甲子園の照明に灯がともり延長戦となった。甲子園全体が日大山形を応援してくれている気がした。一つ一つのプレーに湧き起こる拍手と歓声は選手に勇気と力を与えてくれた。延長十二回勝ち越しを許し敗れて

しまったが、選手たちは口をそろえて「甲子園は素晴らしいところ。最高の夏を過ごせました。」と語っていた。

歴史への挑戦は終わらない  
甲子園での勝利に向かつて新チームがスタートしている。県勢初の決勝進出、全国制覇を成し遂げるまで日大山形の歴史への挑戦はこれからも続いていく。

最後に  
これまでいただきました暖かいご支援とご声援に心より感謝いたします。皆様のおかげで勇気を持ってプレーすることができました。これからも精一杯努力を積み重ねてまいります。本当にありがとうございます。日大山形野球部 一同

### 山形大会

2回戦	山形電波工業	8-3
3回戦	寒河江工業	7-0
(7回コールド)		
準々決勝	山形南	5-1
準決勝	酒田南	5-4
決勝	山形中央	16-3

### 甲子園大会

1回戦  
明德義塾(高知県)  
3-6(延長12回)



チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
明德義塾	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
日大山形	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

三年 舟生 大地(倉室川) 主将(背番号2・捕手)  
甲子園という大舞台で試合をできたことはこれからの人生で大きな財産となりました。しかし、同時に全国の舞台で勝つことの難しさも思い知らされました。拮抗した試合の中で勝ちきるには、やはり強い気持ちが必要なんだと痛感しました。あの観衆の中で甲子園独特の雰囲気にもまれてしまおうのではないかと思います。ですが、ナイン一人一人が雰囲気にもまれることなく、日々の練習の成果を十分に発揮することができました。この敗戦を糧にそれぞれが次の目標に向かって進んでいきたいと思えます。最後に甲子園という舞台に行けたのは、周りの方々の支え、声援があったからです。皆さんの応援本当にありがとうございます。

三年 森田南々斗(童童) (1・投手)  
小さい頃から夢だった甲子園という場所は最高の場所でした。山形県の代表として勝ちたいという思いが強く、最後の最後まで泥臭くプレーすることが出来ました。甲子

園での勝利は後輩達に託します。応援ありがとうございました。  
三年 近藤 大成(富田) (3・一塁手)  
甲子園という場所は自然と笑顔が溢れてくるとても楽しい所でした。「じぶん史上、最高の夏」というキャッチフレーズの中で自分自身・チームにとって最高の夏にできたと思っています。残念な結果でしたが大きな声援ありがとうございました。  
二年 齋藤 史弥(鶴岡) (4・二塁手)  
甲子園はやはり最高の場所でした。最高の舞台で最高の先輩達とプレーができ、たくさんの方々に応援していただき感謝の気持ちと恩返ししたい気持ちでいっぱいです。来年、先輩方に託された夢を実現するためにもっと頑張ります。ありがとうございます。

三年 板坂 拓海(陵東) (5・三塁手)  
この度は、たくさんのご声援ありがとうございました。野球を始めた頃からの夢だった甲子園という舞台に立てることができ、最高の仲間に出会えた事に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に素晴





らしい経験になりました。  
**三年 鹿野 佑太(山形四)**  
 (6・遊撃手)  
 甲子園は本当にすばらしい場所でした。私たちは目標を達成することはできませんでしたが、後輩たちには何かを残せたと思っています。後輩たちにはまたあの舞台上に戻ってもらいたいです。応援して下さい皆様、本当にありがとうございます。

**三年 後藤 裕弥(成田)**  
 (7・左翼手)  
 小さい頃からの夢であった甲子園の舞台に立てた事は、本当に嬉しかったです。今でも自分がああの場所でプレーしていたことが夢みたいです。皆さんの応援があったからこそ甲子園に行けたと思います。本当に感謝しています。ありがとうございます。

**三年 鈴木 琉生(山辺)**  
 (8・中堅手)  
 甲子園という大舞台で

全力でプレーが出来た事は本当に最高で、自分の自信になっています。初戦敗退という悔しい結果でしたが、最高の仲間達と甲子園で高校野球を終われた事は一生の宝です。来年は日大山形の歴史を塗り変えてほしいです。

**三年 石川 陸貢(真栄)**  
 (9・右翼手)  
 夢であり目標だった甲子園でプレーできたことが、何より嬉しく思います。一回戦で負けてしまったものの、強豪校相手に自分達の最高のプレーができました。今まで応援して下さい方々に感謝し、これからのステージでも努力し続けていきます。

**二年 近藤 皓介(象潟)**  
 (10・投手)  
 県大会、甲子園大会での応援本当にありがとうございます。野球を始めた頃からの夢の舞台でプレーでき本当に嬉しかったです。球場の大きな、大歓声、全てが初めての経験でした。あの舞台で次は校歌を歌うため頑張っていきます。

**三年 沼澤 拓実(富田)**  
 (11・投手)  
 甲子園という夢の舞台にこの最高の仲間と立て



たことは一生の思い出です。延長までもつれこみ負けてはしまいましたが、甲子園を日大山形カラーに染める事ができたと思います。支えて下さった全ての人々に心から感謝しています。

**二年 信田 拓人(中山)**  
 (12・捕手)  
 甲子園という大舞台で戦っている三年生の姿を見て、一球一球に込める強い思いと、勝利への執念を感じました。三年生の涙を無駄にしないために、今大会で学んだ事を次の代へ伝え、果たせなかつた甲子園での勝利を届けたいです。

**三年 齋藤 好誠(富田)**  
 (13・外野手)  
 幼い頃からの夢だった甲子園、この夢を叶えられたあの日までたくさん困難がありました。そんな困難に誰一人負けることなく、強い心を持つたチームになることがで

きました。ここまで野球ができた三年間、一生の財産です。ありがとうございます。

**三年 中西 翔(富田)**  
 (14・投手)  
 この夏は応援してくださった方々のお陰で県大会優勝、甲子園出場することが出来ました。自分は五月にケガをしてしまいチームに迷惑をかけてしまいました。しかし最後の夏ベンチ入りすることが出来てよかったです。自分史上最高の夏でした。

**三年 深瀬 頌太(神町)**  
 (15・内野手)  
 たくさんの温かいご声援本当にありがとうございます。甲子園では、日大山形の野球をすべて出しきれました。甲子園で歴史を超えるということはできませんでしたが、その夢は後輩たちに叶えてほしいと思います。応援ありがとうございます。

**三年 手塚隆之輔(弁南)**  
 (16・内野手)  
 甲子園という場所はこれ以上ない野球の楽しさを教えてくれた場所でした。高校野球生活はつらいことがたくさんありましたが、ここまでやってこれたのは、支えてくれた家族、つらいことも

一緒に乗り越えてきた仲間たちのおかげです。本当にありがとうございます。

**三年 沼澤 大輔(舟形)**  
 (17・外野手)  
 この仲間に出会えたこと、そしてこの仲間と甲子園に出場し、今年のチームでもある「じぶん史上、最高の夏」にすることができました。球場から見える応援団は私達に勇気と力を与えてくれた最高の応援団でした。本当に感謝しています。

**三年 武田 辰海(富田)**  
 (18・内野手)  
 たくさんの温かい応援ありがとうございます。甲子園では粘り強くとも楽しく野球ができました。仲間の大切さというものを改めて実感しました。後輩達には、どこよりも仲間を大切にしたいと思っています。

**三年 滝田 優也(郡山七)**  
 (真大会ベンチ入り・捕手)  
 甲子園という最高の舞台に最後の夏みんな立てたという事は、これからの人生でとても大きな財産になると思います。そして甲子園へ行く事が出来たのは、たくさんの支えと皆さんの応援があったからです。本当に



ありがとうございます。

**二年 高橋 殿馬(富田)**  
 (真大会ベンチ入り・内野手)  
 県予選を戦って一戦一戦たたかうたびに強くなつていったかなと思います。特に準決勝の酒田南戦では、同点のまま試合は後半に進みました。「自分たちは必ず勝てる」そうみんなが信じた結果勝てたと思います。最後は気持ちだなど思いました。

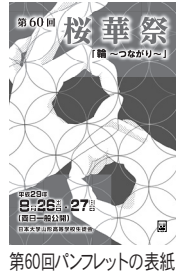
**三年 小梁川 柚奈(富田)**  
 (マネージャー)  
 甲子園という夢の舞台に立てたこと、そこで日大山形の野球を沢山の人の見て頂けたことを本当に嬉しく思います。この夏は今年のキャッチフレーズである「じぶん史上、最高の夏」そのものでした。応援して下さい方々ありがとうございます。





# 第六〇回 桜華祭

## 輪っつながり



第60回パンフレットの表紙

第六〇回という節目の桜華祭は、八月二六日、二七日の二日間、両日も一般公開で華々しく行われた。前夜には雨が降り、テントが破損するなどのトラブルもあったが、当日は気持ちの良い晴天で、キャンパスは明るい賑わいを見せた。

テーマは「輪っつながり」。六〇回という節目。人間の一生でいえば還暦。結婚六〇周年はダイヤモンド婚式。六〇年前といえば昭和の、もはや懐かしい時代。創立から毎年、それぞれの祭りが開催されてきたに違いない。先輩から後輩へ、そしてまたその次の学年へ。そんなつながりを積み重ねて今がある。輪が鎖のようにつながり今年の桜華祭が開催された。今年のテーマ「輪っつながり」



屋外の出店も大盛況

り」もそんなことを考えて設定された。表紙は両手のデザイン画。その両手は「6」と「0」を指で作っているのだという。開祭式では実行委員長からそんなエピソードが紹介された。

どの発表もどの企画も、その集団の、その人の、パワーが感じられるものだった。準備段階から、各クラス、部が、苦勞して企画し、材料をそろえて準備をし、協力しあった賜物である。

ステージ発表の文化部  
演劇部・ダンスドリル部・放送部・吹奏楽部  
教室での発表の文化部  
漫画部・美術部・写真



吹奏楽部の発表



マツコイ齊藤氏の講演

お化け屋敷・日大付属  
高校交流物産展・図書  
委員会古本市・各クラス  
の展示やカフェ・入  
試相談  
屋外の出店  
保護者会・応援団・ダンスドリル部・女子ハンドボール部・各クラス

部・囲碁将棋部・英会話部・書道部・生物部  
部・音楽部・JRC  
部・書道部・生物部  
部・音楽部・JRC  
部・書道部・生物部

特別文化講演会（マツコイ齊藤氏・アームレスリング・日大音楽祭・男装女装コンテスト・のど自慢

教室でのイベント企画  
お化け屋敷・日大付属  
高校交流物産展・図書  
委員会古本市・各クラス  
の展示やカフェ・入  
試相談



実行委員がんばりました！

夢中になる。楽しむ。そんなことの大切さやかけがえのなさを、参加者来校者の活き活きとした表情は物語っているようだった。体育館でも各教室でも明るい表情で皆が祭りを楽しんでいった。第一回からの輪、仲間との輪、日大の輪、様々なつながりの輪を感じる、内容盛りだくさんの楽しい祭りだった。



各教室でも様々な企画が

# 体育祭

七月十一、十二日に体育祭が行われた。一年生は県体育館、二年生は本校体育館、三年生は山形市総合スポーツセンターで熱戦が繰り広げられた。



バレーボール (男子) 優勝 10 11 1 組 二位 10 11 1 組 三位 10 11 1 組	バレーボール (女子) 優勝 2 8 10 組 二位 2 8 10 組 三位 2 8 10 組
<b>1年生</b>	
バレーボール (男子) 優勝 10 9 2 組 A 二位 10 9 2 組 A 三位 10 9 2 組 A	バレーボール (女子) 優勝 10 5 1 組 二位 10 5 1 組 三位 10 5 1 組

バレーボール (男子) 優勝 7 2 4 組 二位 7 2 4 組 三位 7 2 4 組	バレーボール (女子) 優勝 7 1 10 組 二位 7 1 10 組 三位 7 1 10 組
<b>2年生</b>	
バスケットボール (男子) 優勝 10 7 組 A 二位 10 7 組 A 三位 10 7 組 A	バスケットボール (女子) 優勝 3 4 5 組 B 二位 3 4 5 組 B 三位 3 4 5 組 B

バレーボール (男子) 優勝 10 2 1 組 二位 10 2 1 組 三位 10 2 1 組	バレーボール (女子) 優勝 1 2 3 組 二位 1 2 3 組 三位 1 2 3 組
<b>3年生</b>	
バスケットボール (男子) 優勝 12 5 1 組 二位 12 5 1 組 三位 12 5 1 組	バスケットボール (女子) 優勝 1 8 12 組 二位 1 8 12 組 三位 1 8 12 組

# ケンブリッジ 語学研修

七月十八日〜八月四日、日本大学の学術交流協定校であるイギリスのケンブリッジ大学・ペンブルックカレッジにて、全付属高校生を対象に語学研修が今年も開催された。同カレッジのプログラムによる英語、歴史及び文化の授業を受けることにより、英語の表現力・伝達力の向上とより一層の国際的な感覚を身につけることを目的とし、生徒たちは充実した日々を過ごした。



二年九組  
工藤かん奈  
(山形三中)

## 私を変えた夏

この夏、ケンブリッジ大学のサマープログラムに参加してきました。十八日間の日程の中でたくさんの物事に触れ、多くの経験をする事ができました。現地の授業ではイギリスの歴史・文化を中心に学習しました。全て英語を使った授業だったので、自分の考えや意見を先生

や友人に伝えるときに言いたいことをすぐに英文にすることができず大変苦労しました。また、イギリスの英語は普段耳にしている発音と大きく異なる部分が多々あるため最初は殆ど聞き取ることができず悔しい思いもしました。そうしたなかでも諦めずに積極的にコミュニケーションを取るうちにだんだんと自分の英語能力が上がっていくのを実感でき、とても充実した研修にすることができたと思います。

最後に、イギリス渡航の機会を与えてくださった先生方、両親、そして研修中切磋琢磨しながら共に学んでくれた付属高校の仲間、本当にありがとうございました。

更に現地の学生によるアクティビティーにも参加し、とても充実した二週間を過ごしました。



二年十組  
菅原 啓祐  
(山大附中)

## 体得したものを表に

この夏、イギリスのケンブリッジに付属高校生四十八名と共に語学研修に行きました。現地では先生方と発音や表現力、文化にもたくさん触れる楽しい授業を展開していただきました。

更に現地の学生によるアクティビティーにも参加し、とても充実した二週間を過ごしました。

現地ですぐに山ほどありますが、中でも先生に「日本人はポディーランゲージが多い」と言われたことが特に記憶に残っていて、それが日本人の短所だと思いました。会話力としての英語を身につけるにはもっと英語で会話をしなければならぬ。そう痛感しました。

この研修は自らの英語力の事だけでなく、我々生徒全員の英語教育に対する視点も変えるものとなりました。英語力の向上は会話をするにあり、習ったことを駆使して自分なりに表現することこそ意味があると今回の研修を通して改めて実感しました。

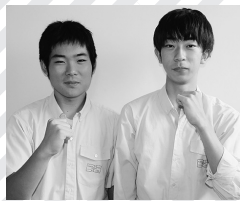


プログラムアシスタントの学生と共に菅原君(左)と工藤さん(右)

# 全国高校生クイズ大会出場!

毎年夏に行われる『全国高等学校クイズ選手権』の地方予選会が七月二十五日に宮城県仙台市PTで行われ、本校二年の大江祐輝君(東根三中)と三浦零君(山大附中)が激戦の末、見事山形県代表に選ばれた。

八月五日に行われた全国大会では、全国から六十チームが参加。上位十チームに入ればアメリカ行きの切符を手にすることができるといって早押しクイズで、残念ながら敗退してしまつた。敗れたもの三浦君と大江君は「全国大会では選手のレベルの高さを感じる事ができた。とても楽しかった。」と笑顔で答えていた。来年度も是非本校生が県代表として全国大会に出場し、全国優勝を掴み取ることを期待する。



2人合わせた合点  
大江君(左)と三浦君(右)

# 放送部 南東北インターハイ 開会式アナウンス

柴崎 秀斗 (山大附中)

今回、南東北インターハイの総合開会式のアナウンスを務めました。最初は総合開会式のアナウンスをする実感がありませんでした。しかし、練習を重ねて総合開会式の当日が近づいてくると、自分にできるのかなど緊張がでてきました。当日は、緊張もありました。自分らしさを出し、楽しんでできたと思います。このような貴重な経験ができたので、この経験をもちにこれからも頑張っていきます。



アナウンス当日の様子

平成29年度  
特待生  
・  
奨学生

日本大学付属高等学校  
特待生

- 安達 友威(山辺中)
- 渡部 鴻人(山形二中)
- 大津 優花(山形四中)
- 佐藤 輝幸(神町中)

日本大学山形高等学校  
奨学生

- 小林 愛実(山形十中)
- 佐藤 泰海(山形一中)
- 須藤丞太郎(楯岡中)
- 坪 奈那(山形二中)
- 市村 夏希(山形五中)
- 大西 未准(山形六中)
- 高松 大暉(天童一中)
- 高橋駿太郎(山大附中)
- 安達 太亮(東根二中)
- 小林 杏(山形四中)

日本大学山形高等学校  
コカ・コーラ育英奨学生

- 海野 一真(天江中)
- 近藤 勇斗(山形六中)
- 橋 うらら(山大附中)
- 林 葉奈佳(天童三中)
- 佐藤 楓(山形五中)
- 村上 大知(陵南中)



日本大学海外研修 中国のIoTの現状を視察する

情報科 平 和 典

多くの外国人が訪れる、中国と台湾の故宮博物院... IoT化が行われているか...

宅老後のリスクを低減させるスマート設備... IoTの活用は従来の慣習から...



個人・自由と歴史 中国・台湾の現地調査・視察から

歴史・公民科 神 保 和 浩

日本国憲法には、十三... 中国は古代文明から現代に至るまで政治・経済・文化の面で世界に多大な影響を及ぼしてきた...



盧溝橋にて

史的事実に関して述べることは控えるが、両施設とも入場には長蛇の列をなし、夏休み中の現地小学生の姿が多くみられた...

平成29年度 日本大学 付属高校生 サミット

毎日書道展 最高賞 奥山秀則教諭

日本大学付属高校生サミットが、八月一日から三日の日程で塩原研修所を会場に開催された...

国内屈指の書展の一つ「毎日書道展」の本年度の受賞者が発表され、近代詩文書の部で本校国語科の奥山秀則（秀山）教諭が公募最高賞の「毎日賞」に選ばれた...





# 学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

期日	会場及び時間
第1回 平成29年10月8日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回 10月22日(日)	説明会 10:00~11:20 (第1体育館)
第3回 11月19日(日)	以下は希望になります。
第4回 12月3日(日)	個別相談 11:20~
第5回 12月16日(土)	校舎見学 11:20~12:00(予定) 部活動見学 11:20~12:10(予定)

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、お電話の上、ご来校ください。  
※部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。  
(023-641-6631 担当/橋本・田中)

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明を致します。  
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

平成二十九年七月一日、ホテルメトロポリタ山形にて桜華同窓会総会が開催されました。総会後の懇親会の冒頭で、今年度より新同窓会会長に就任された藤田宏次様、江口善紀校長の挨拶を頂きました。実行委員会をはじめとする日大山形のOB・OGの尽力のおかげで、終始和やかで楽しい会でした。また、本校ホーム



ページに桜華同窓会 Facebookのリンクがあります。是非ご覧ください。



体育祭

# フォト・ア・ラ・カイト



壮行式



芸術鑑賞会



桜華祭



ダンスドリル部(藤井・高野杯のハーフタイムでの演技)

日本大学山形高等学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇三三六四一六六三一(代)  
FAX 〇三三六四一六六三四  
URL <http://www.ymgrlhs.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
写真提供 (有)カメラの石山



花植え



生徒評議会

そして低迷していたその番組を復活させたと言われている山形県出身のマッコイ斉藤さんが、桜華祭の特別文化講演のために来校してくれた。ひいきにしてみらえるのは何の理由からだろうか。二人の間に交わされた思いが、山形を後押ししてくれていると感じた。

## 編集後記

夏が終わり、秋がやってきた。今年の夏は天候不順で後半はあまり暑くない夏となった。しかし、学校は四年ぶりの甲子園出場に沸き、東北北インターハイの動員もあいまって、大変熱い夏となった。甲子園は延長戦となり奮闘したものの十二回表に三点を勝ち越され、初戦突破はならなかったが、実に白熱した好ゲームだった。野球好きで知られるとんねるずの石橋貴明さんが、全国放送のテレビ番組の中で二回も「日大山形おしかった。好い試合だった。」と語っていたそうだ。